



あわてんぼうのクリスマスツリー

気が付いたら11月も終わりに近づいていて、慌ててクリスマスツリーを飾りました。グループホームに訪問看護で来てくれる「とね訪問看護ステーション」の看護師さんからポインセチアをいただき、急にクリスマスムードが高まりました。夜間に電飾が点滅していると「火が心配だよ」と眠れなくなってしまう方がいた時もありましたが今は「きれいだね」と見てくれる方が多いです。入居者の皆さんはクリスマスが来るとすぐにお正月なのでそちらの心配をされる方が多いです。心配といってもお正月飾りやおせち料理の心配ではなく「また松の下をくぐる。歳をとるっていうこと。もういらないんだけど、こればかりはねえ。」と苦笑いして話をしてくれます。「松の下をくぐる」という表現や、誕生日よりも年が明けて歳をとるという「数え」の方が馴染みがあるということなどちょっとしたことが勉強になります。



干し柿をつきました

グループホームの入居者のお一人が干し柿をつくるのがとても上手で、柿の皮を黙々と剥いてくれました。11月も暖かくて上手にできるか心配だったのですが、とてもおいしくできたそうです。おいしくて売れ行きが良すぎて、でき上がった干し柿の写真を撮る前に無くなっていました。作ってくれたご本人が笑顔で召し上がっている写真があったので良かったです。